



『川の楽しさや危険性学ぶ！』 出前講座で興文小児童

興文小学校（多目的施設）における出前講座の様子

- 国土交通省木曽川上流河川事務所は7月8日（火）、大垣市内の興文小学校（大垣市西外側町）を訪れ、出前講座「川のはなし」を開き、3年生児童113人が川について学びました。

夏休みに入る前に川の危険性について勉強したいと同校児童からの依頼を受け実施したもので、同事務所の稲葉傑副所長が講師を務めた。副所長はイラストを交えて川の成り立ち、川遊びの楽しさや遊ぶ時の注意点、川とプールの違いなどについて分かりやすく紹介。児童たちは真剣な表情で耳を傾けていました。



堤防は足元が悪いので、
気をつけて!



流れが速くなったり深みがあるから、気をつけて!



雨が降ると、水位が上がって
濡れなくなるから気をつけて!



ふちを歩くとくずれるから
気をつけて!



児童からの質問に答える稲葉副所長

【講座を終えて】

- ・ 今回、1時間弱にわたり川の話をしていただきましたが、皆、熱心に聞き入れ、たくさんの質問をしてくださいました。それだけ、身近に流れる川に興味があるんだと感じました。
- ・ これから子供たちは夏休みに入り、水遊びや魚釣りなど、川で活動する機会が多くなります。子供は好奇心が旺盛で、色んなことを遊びに変えます。町に「交通ルール」があるように、川遊びにもルールがあります。「危ないから、川に行ってはいけないよ！」で終わってしまうのではなく、川は何故危ないのか、川の楽しさや魅力も含めて、私たち大人が子供たちに、きちんと理解できるように教える義務があると考えています。

木曽川上流河川事務所 副所長 稲葉 傑

川の楽しさや魅力が体験できる事例



川辺の水遊び（揖斐川）



採取できる生き物たち

カワゲラウオッチング（揖斐川） 大垣市小野小学校